

本庄SDGs～地球のために、できること～

学校名:神戸市立本庄小学校 名前:阪井園子

対象 4年

科目 総合的な学習

時間 15時間

参考資料
『あおいほしのあおいうみ』
インターネット
図書など

単元名

本庄SDGs～地球のために、できること～

目標

- その1 身の回りの環境問題について関心をもち、自分なりの課題を見つけ
てすすんで調べることができる。
- その2 身の回りの環境問題について、インターネットや本から自分の必要
な情報を調べ、分かりやすくまとめ、伝えることができる。
- その3 環境問題について、友達と協力して自分たちにできることを考え、
地域や家庭の中で実践することができる。

期待できる学習効果

- ・その1 社会科の学習とカリキュラムマネジメントを行うことで、スパイラルな学びや実践ができる。
- ・その2 身の回りの環境問題とSDGsを結びつけることができる。
- ・その3 インターネットや本から、必要な資料を見つけることができる。

授業内容

社会科「わたしたちの健康をささえるしごと」で、「くらしとごみ(資源)」「くらしと水」を学習する。
並行して総合的な学習の時間に、本単元を展開した
導入では、SDGsカルタを通して、身の回りの環境問題について、興味関心を整理し、
学習課題を設定した。

本庄SDGs～地球のために、できること～

学校名:神戸市立本庄小学校 名前:阪井園子

授業内容2

本やインターネット、インタビューなど、様々な方法で自分の学習課題に基づいて調べ活動を行い、新聞にまとめた。

子どもたちの反応・感想

『あおいほしのあおいうみ』は、学習の終盤で届いたので、教室において自由に手に取って読めるようにした。以下、感想より抜粋。

- ・川と海は繋がっている。また海はぐるぐると回っているので、ゴミも回っていると知った。ゴミは家に持ち帰りたい。
- ・対馬の海にはゴミがたくさんあり、それも木材が多いということが印象的だった。ぼくも、節電や5Rにも力を入れたいと思う。
- ・P.50で、カメがクラゲと間違えてビニール袋を食べてしまっていた。私たちが海にごみをどんどん捨てているのだと心に残った。
- ・P.27で、45億年前から大事件が起きていたなんて、初めて知った。
- ・初めて知ったことがいっぱい。
- ・ニシオンテンザメを初めて知った。江戸時代に生まれたのがすごい。
- ・害があるといって捨てられていた魚をおいしく食べるなんてすごい！地球ってきせきの星だ！
- ・どのページも短い文で書かれていて、読みやすかった。
- ・絵がかわいい。
- ・海の生き物のことがよく分かる。
- ・とても素敵な本をありがとうございました。